

〔サンプル版〕

宅配裏ビデオ・チラシ撒きの挽歌

本木敬三／著

## サンプル版収録話

本章 その一

---

「同業他社な方々」

本章 その二

---

「シミュレーション」

「宅配裏ビデオ・チラシ撒きの挽歌」

製品版好評販売中!!

全1巻500円(税込)

禁無断転載

<http://www.dex-one.com/>

## 同業他社な方々

同業他社と言っても、実は全部元締めは同じなのです。

当時存在していた会社の殆どは母体が同じ子会社でした。トップは同じ人で、その下で働いていた人が、のれん分けをする形で会社が増えていったようです。ちなみに、同じ系列の会社かどうかの見分け方は、チラシをよおくく見ることです。五く六枚並べてみると分かりますが、非常に作りが似ています。

その見分け方としては……。

● A4サイズの二つ折りである

● 色上質紙である

● 表紙に女の子がどーんと一人いるデザイン

大体こんなモンでしょう。

母体は同じでも、所詮は別の会社なので連絡が旨くいかならしく、系列会社同士で同じエリアを撒く場合が度々あります。

ひどいときには三社同時とか……。バッテリーは、注文数に響くのでさけたのですが、流石に数百人という撒きさんと、会社間のエリアローテーションは難しいのでしょうか。

でも、同じエリアを攻略している奴がへボイ奴だと、実はあんまり注文数に響かないんです。

相手のレベルを見分けるのは簡単、見落としそうなポストに、やっぱり相手のビラが入っていないければ、へボ。

「ぜってーこのポストはオレしか見つけれねーよ」と思ったポストにビラが入っていたら強者つてとこですな。

あまりにも、抜けがないと「うむ、敵ながら天晴れぞよお」と感心することも度々……。

他社のビラを捨てるのは厳禁。見つかると思つくと即クビです。同じ苦勞を分かち合うモノとしての紳士協定ですね。

なかでも、撒き子さん同士のニアミスもあります。ちゅーかポストでバツタリ鉢合わせする事も何度か……。

まあ他人なので、挨拶をするでもなく、黙々と仕事をこなすわけですが、同じエリアを巻くわけで、その後、数件後のアパートでまたまたご挨拶なんてこともあります。

こうなったらひたすら相手が行かない方へ行くしかありません。かわいい女の子だったら、ひたすら同じ方向に行くのでしようが、たいていは、野郎ですからねえ……。

でも例外が一回だけ、都内某区であったのは女の子、しかも若かった……。

# コミュニケーション

## その1

### ★起床

ピ。目覚ましが鳴った、時間は八時。

普通の人なら、もう玄関を出ている時間だろうが、ピラ撒き野郎の、朝は遅い。季節は夏から秋に移り変わる頃、寝汗もかかず、目覚めは爽快！ いっちょ今日もがんばりますかね。

この仕事をするようになってからは、あまり格好にはこだわらなくなった、髪型も少々の寝癖は無視無視、帽子をかぶっていればどうにかなるだろう。実用に徹したピラ撒きファッションに身を固め、気合いを入れ始める。

朝食は会社を出てからとるので、洗顔後着替えてさっさと出勤だ。

最寄り駅までは徒歩一〇分、東京への通勤者が多く住む埼玉県東部の、とある

ベットタウン駅だ。

この時間だと会社に行く人もまばらだが、さすがに輸送能力がまだまだ足りないの、この時間でも座れるのは珍しい。

今日は火曜日、暇つぶしの道具がないので、日経新聞でも買ってみる。月曜日ならヤンマガ、水曜日ならマガジンと決まっているのだが、何もない日は新聞を買う。

日経を買うのは前職の名残、日本株式会社の社内新聞みたいなモンだから、と  
りあえず経済のトレンドを追いかけるのには役に立つ。

電車は高架なので、眺めはなかなかナイス。途中から地下鉄に乗り入れるので  
それまではぼーっと外を眺めていることも多い。

特に、おもしろい風景があるわけではない、ひたすら真っ平らな住宅群が広がる  
埼玉ならではの風景。暇つぶしは地下鉄部分に入ってからだ。

「次は東銀座あゝ」アナウンスが響く。

一通り日経に目を通した頃に駅到着、総通勤時間は丁度一時間くらい、ここま

での文章で、私の住処が分かる人には分かるはず。

地上に出ると歌舞伎座前。開演を待つジジババサマで混み始めていた。公演前はまだ良いのだが、公演後、一斉に地下鉄の歌舞伎座口に殺到するジジババサマで引きこる歌舞伎座渋滞には、ホトホト困らされることが多い。

歌舞伎座内から、直接駅に通じる通路でも造ってほしい。

駅から会社までは徒歩五分もかからない、とある雑居ビル。自社ビルという噂もあるが……、見えてくる。

他班の班員さんが四人くらいたむろっている。どうやら、レンタカー遠征部隊のようだ。

とんでもないド田舎になるのはよくある話、過酷な労働前のひとときの静けさ。がんばってちよーだいと思いつつ、エレベーター前へ直行。元気があれば階段だが少しでも体力は温存するが吉。

★社内へ

エレベーターが到着、フル装備のビラ撒き野郎どもがどつと出てきた。時間を見ると九時二十五分。

最低でも、九時三〇分には部屋に入らなければならいのだが、どういう訳だかみなさん来るのが早い。九時頃には、ほとんどの人が来ているらしいが、私はいつも、超重役出勤でギリギリのコトがほとんど。

準備の早い人は私が来る前に既に出動済みだ。

『おはようございますー!』の元気な声で入室、おつと社長がいますね。

今日はホントのどん尻らしい。班長、副班長にも挨拶をする、部屋に入つて三回も四回も挨拶するのは私くらい、一番最後に来ても、成績と挨拶のおかげで心証を悪くすることはないのだ。

とりあえず、前日の成績をチェック、壁に貼つてある週間売り上げグラフを見ていると、昨日より七本増えていた、まあまあかな？

当日分を副班長に聞くと、三本とのこと、昨日撒いた分のピラで三本、それ以前のエリアから四本注文が来ていたということだ。

これだけ注文が来ると、給料がアップするはずなのだが、私は元々上限一杯の一五〇〇〇円なので、これ以上は上がらない。

昨日は、ちょー田舎エリアだったので、地図を見せてもらい、どこら辺からの注文かチェックしてみた。

ん〜やっぱりあそこか……。田んぼの中の独身アパートだな……。地図を見ると、物件が大体頭に浮かぶコトが多い、前日の予想が当たるとちよつと嬉しい。

### ★ピラ折り

確認が済むとピラの用意、初めから折ってあるのは一〇〇〇枚しか貰えない、残りの一五〇〇枚は自分で折る。

一枚づつ折っていたら日が暮れるので、五〇枚くらいまとめて折るのだが、このとき役に立つのがデカビタCの瓶。(リアルゴールドの瓶もナイス)

うどん打ちの要領で、ゴリゴリ折っていく。慣れれば十五分とかからない。

五〇〇枚の束をまとめて、コンビニビニールにいられてリュックへぶち込む。素人は、直接リュックへいられてしまうのだが、汗で濡れたりこすれて汚くなったりするので、なれた人は絶対にビニールにまとめてからパッキングする。売るための努力はちよつとしたことに現れる。

ちなみに、遅く出社した人が座る席はない、部屋の広さから、これ以上イスが置けないのでしようがない。

いつものとおり、折りマシンがおいである部屋で、地べたに座って折る。副班長が、折りマシンを使っているときは、世間話に花が咲く。一週間で一〇〇本売った話、全国各地の出張話、管理人話など、みなさん色々な経験をしているので非常におもしろい。

イスに座って黙々と折っていたら、こんな話は出来ない。こんな会社にいても、常に裏を目指すのは、裏モノ大好き人間の性。

★指令

ピラが折り終わる頃、班長からお声がけ。よくよく見ると、他の人はほとんど出動済み。

班長席で今日のエリア指示を受ける。班長席には大きな地図が広がっている。これは都市地図をコピーして繋ぎ合わせて、〇〇市、〇〇区の地図にしたもの。もちろん班長のお手製。

それでもって自分がもらう地図は、さっきの大きな地図をコピーしたものので相当汚い。つなぎ目が合っていないことも多いので、勝手に自分で地図帳を開いてコピーする。

棚にはピラ・折り用の瓶に混じって、日本全国、県別の地図がどっさりある。地図は行動をつかさどる唯一のモノなので、絶対に綺麗な方がいいに決まっている。地図があつても迷子になる人がいるくらいだから、汚い地図では経路検索効率は下がるのは確実。

でも、自分でコピーしている人は少数。みんなよくあんな地図で仕事が出来るとのか不思議だ。

「今日はちょっと遠いよ二〇〇〇枚でOK」

うげつ、あんまり聞きたいくないセリフ……。大体、二〇〇〇枚撒ききれないんだよね。

行き先はとんでもない辺境である。

今日も苦労が絶えなさそうだと思いつつ、ピラを五〇〇枚戻して出陣する。

## その2

### ★現地への道

出発前にルートの確認をしたのだが、とりあえず東京駅まで行き、内房線に乗って木更津方面へ行けばよいらしい。

本当は、綿密にルートを確認してから出るのが普通だが、あまりに遠距離の場合は見切り発車する場合も多い。

今回は直接目的地まで行く電車はないようなので、出たところ勝負ってコトになる。予想時間は約九〇分ってとこか？

とりあえず、むちゃくちゃ遠いことだけは分かったので、こんなときは会社前

のコンビニで朝飯を買い込む。

移動中に朝飯をすますのだが、電車の中で飯を食うのは、はじめは勇氣がいる。はつきし言つて、電車の中でものを食べるのは高校生か小学生しかいないので、いい大人がむしゃむしゃ飲食するのは、世間様に顔向けできないほど恥ずかしい。しかし、移動時間の有効利用という見方をすれば、ニューヨークのバリバリビジネスマンと同じなのではないか？ などと勝手に理由づけをして、途中からは完全に開き直っていた。

まあ千葉、埼玉方面に遠征する場合は電車がボックスシートなので、弁当を広げていても、端から見たらハイキングに見えないこともないが……。もつとも、私は京浜東北線の、ベンチシートでも平気で食べていたが……。

ちなみに、本日の朝飯はおにぎり三つとビタミンパーラー三五〇瓶一本。

普段、時間に余裕のあるときは銀座の（小さい方の）マックまで行き、ぎりぎり一〇時前に入店できたならホットケーキセットを頼むのが普通。蜂蜜べつとりの、薄っぺらなホットケーキは肉体労働者の強い見方だ。

買い込んだ飯を、片手に丸の内線経由で東京駅へ到着、内房線（京葉線）の

ホームに向かう。何度来てもこのホームは遠い、どうにかならんもんかねJRさんよ！

同じ東京駅と名前が付いている割には、一駅分くらい歩かせて、何ともおもわんのか？

階段を下り続け、動く廊下を五〇〇Mほど駆け抜けて、ようやくホーム着、時間を見ると、次の電車まで十五分ほどある。とりあえず、座って飯を食ってしまおうと電車に向かうが、視界の片隅に、売店に並んでいる磯部餅が入ってきてしまった。んく餅には弱いんだよね俺、結局二個ほど買い込み電車に乗り込む。

遠距離電車のホーム売店はどうしてこう、旅人の心を揺るがすアイテムが並んでいるのだろう。

出発時間。アナウンスが妙に寂しい感じ。

遠距離列車、人の心を遠くへ運ぶ、気合い満点のアナウンスがとってもナイス。地下ホームからの出発なので何駅かは地下を走るのだが、途中から地上にでる。朝日がまぶしいが、さっさと飯をすまして寝に入る。睡眠のお供は当然ラジオ。

千葉方面に向かうので78・0キロヘルツ、BAY-FMにチャンネルを合わせ、目を閉じる。

「木更津う〜」

ようやく木更津到着。ここから更に乗り換えて、奥地へ進むわけだ。

時刻表を確認してみると、四〇分待ち……。なんたるコトだ！ いくら単線でもこれはないんじゃないの？ などと怒ってみたところでどうしようもない。

おとなしく、ホームでぼーっとしてみるが、よくよく見るとあつちのベンチに同じような格好をした奴を発見。

同じ班の撒き子さんだ、ホホホ、速攻で寄っていき、雑談に耽ることにした。

彼の年は私と同じくらい、入社は私より後だが結構長く続いている。辺境まで飛ばされてきたところを見ると成績も良いのだろう。

彼は役者志望のナイスガイで、お約束の通り、お金には大変困っていて、普段

はバイトに明け暮れる毎日らしい。曜日的に拘束されず、一気に稼げる仕事と言うことで、ビラ撒きをしているとのこと。

私は劇団といつても、「第三舞台」「キャラメルボックス」程度（しかも名前だけ……）しか知らない普通人なので、あんまり話は理解できなかったが、夢に燃える心意気だけは伝わってきた。

ん〜燃える人との会話は気分がいいね。

★やつとこ到着

ようやく正午を、かなりすぎて到着。

ん〜普段なら、早ければ五〇〇枚は軽くクリアーしている時間だ。駅を降りてロータリーをぐるっと見回す。

とりあえず、見た感じは超田舎的な感じはしないので、自転車を使うことを考えずに撒きに入ってみよう。

町の感じは古くからある港町の駅前がちょっときれいになった感じ。コンビニもあるが、セブ〇イレ〇ンでなくて、ヤマ〇キデイ〇ーストアなのが、地方臭く

てグー。駅前を出るとすぐに古びた国道にでる。

電車と平行して走っている国道だが、ここら辺迄来ると、町並みが古い感じになる。

そして国道を越え、海に向かうにつれて、埋め立てられ、区画整理された町並みとなる。

ただ、道の整備の方が先に進んでいるようで、きれいな区画の中にポツンポツンと建物がある感じ。さらにそれを越えると海岸沿いに火力発電所、港、工場が建ち並ぶエリアになる。

こういった遠征では、班長も現地を見ていないことが殆どで、エリア設定も本人任せの部分が多いのが普通。

大きな道、川、行政境界線（県境、市境、町境）、線路などで大体のエリアは区切るが、物件がありそうならはみ出しOK。逆になさそうなら行かなくてよいと言った感じ。

経験に基づいて国道沿いに、下見をかねて撒き始める。

ないね……、全然ないね……、全くない……。これははつきし言って出張先より少ないかも……。

この予想は、大当たりなのであった。

★ここで物件が少ないときに行うお約束を二つ。

①**手持ちのビラを一〇〇〇枚隠す**

今回は、二〇〇〇枚と求人ビラなしなので、元々ずいぶん荷物は軽いのだが、それでもビラが減らないと移動がきつい。

よって、絶対に人に見つからないような場所に、ビラを隠すことで機動性を三〇〇%アップさせる。「確実に」見つからないと言うのがミソで、過去においては住人に隠しビラが発見され↓警察通報↓続行不可、となった例もあるので、細心の注意を払い隠し場所を決める。

アパートの水道メーター内、LPガス室なんかがナイスなのだが、今回は電車の踏切の裏に隠してみた。

雨が降っても大丈夫なようにビニールで2重に包み、上にはカモフラージュで

木の枝をかぶせる、まあこれで大丈夫だろう。

手元の一〇〇〇枚がなくなったら取りにくる訳だが、結局、その必要はなかった……。だつて……、

## ② チャリンコ調達

田舎と分かったら絶対に必要なのがチャリ。

今回は道ばたの林の中から発見。状態は良好、おそらく、地元の中坊どもがくすねたチャリンコを、乗り捨てていったと思われる。

ありがたく、貸していただきましょう。人にとって必要であるモノは、絶対に見つけてやろうと思うと、何故か見つかるのでとても不思議。

人間の思考は神様に通じるらしい、ありがたや……。

## その3

### ★風薫る街？

身軽になり、足を確保したので気分は相当楽になった。